



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 57 号
令和 3年 2月 8日

緊急中堅事態宣言の延長を受けて

校長 古市 直彦

政府より、緊急事態宣言の延長が発表されました。千葉市としましても、基本的には「校報 若松中だより48号（1月8日発行）」で説明させていただいたこれまでの取り組みを継続していくこととなります。再掲となりますが、以下の活動については、当面の間行わないこととします。

- 各教科等に共通する活動として「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- 理科、音楽、美術、技術・家庭における「生徒同士が近距離で行う活動」
- 保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

また、部活動に関しても同様の取り組みを継続していくこととなりますが、1点追加がありました。

- 放課後1時間程度、平日のみの活動とする。朝練習はなし、週3～4回程度の実施とすること。
- 運動時も常時マスクを着用する。（呼気が激しくなる運動は行わない。）（追加）
- 対人練習・2人程度での活動とし、約2mの間隔をあけて実施すること。
- 接触を伴う運動や、向き合っの活動は避けること。
- 活動中もこまめに手洗いを行うこと。
- 練習試合、合同練習、演奏会などについて、無観客であっても行わないこと。また、各種競技 協会・連盟が主催する大会等にも、参加しないこと。



今後も、体温管理や手指の洗浄消毒、ディスタンスの確保等に配慮しながら、学校生活を進めて参りたいと思っています。生徒の皆さんにも、もうしばらく制限のある学校生活を願うこととなりますが、よろしくお願いいたします。また、感染が不安で欠席させたい場合は、保護者の方が直接学校（教頭）にご相談ください。

本校の「プライド」って何でしょう？

校長 古市 直彦

出退勤時、本校生徒が登下校している光景を見かけることがあります。ある日のことでした。私が交差点で信号待ちをしているとき、何台か前の横断歩道を若中ジャージを着た本校生徒が渡ろうとしていました。青信号で左折しようとした車があったのですが、本校生徒の少し手前でとまりました。本校生徒は、その車に対してペコリと頭を下げ、急ぎ足で横断歩道を渡っていきました。横断歩道で車が止まる間は当たり前ですが、その止まってくれた車に対して「ペコリ」と頭を下げ、「急ぎ足」で横断歩道を渡っていく…。当たり前なんですが、その光景を見ていて、何だかとても微笑ましく感じました。そして、その中学生が若中ジャージを着ていたことが、何だかとても誇らしく感じました。



地域の方から、こんなお電話をいただいたことがあります。

「コンビニで倒れていたおじいさんを、たまたま通りかかった若中生3人が助けてあげていました。とっても感動しました。」

「大通りで止まってしまった車を、若中生数名が押してあげていました。たいしたもんです。」

電話を下された方に「当たり前的事をしているだけですから…」と対応しながらも、自然に自分が笑顔になっていることに気付きます。

でも、こんな、お電話をいただいたこともあります。
「下校途中の若中生が横に広がって歩いていて迷惑なんだけど！。若中ではどういう、教育してるんですか。」
「立ち入り禁止となっているエリアに、若中生がフェンスを乗り越えて入っている。〇〇〇〇部の子らしい。まわりの子も、はやしたてていたようで残念。」

申し訳ないという気持ちと同時に、とても悲しい気持ちになり、いたたまれませんでした。



生徒の皆さんに問いかけます。

以前、放送集会の中で、生徒指導主任の___先生が「若中プライド」に関する話をしたことがありますが、覚えていますか。

皆さんにとっての「若中プライド」って何ですか。どんなことを誇りに思えるような若中になりたいですか。

当たり前の事を、当たり前のように普通にできる若中生。

誰が見ていようが見ていまいが、正しいことはすすんで行き、間違った行いは自分で制することができる若中生。

本当にすてきで、素晴らしいと思います。

テストで良い点がとれるとか、部活動が強いとかは、これらに比べればずっと小さなことだと思いませんか。

生徒の皆さん一人一人が、自分自身に誇れる「若中プライド」をもってほしいと思っています。



多くの実が結びつき重なり合った若い松ぼっくりをイメージした校章。しっかりとスクラムを組んで「和」をつくり、力強く、大きく成長することを願って制定されています。

主な行事の様子です

1・2年定期テスト前学習講座 (2月3日)

テスト範囲の重要ポイントや難しいポイントについて、説明を聞いたり、練習問題を解いたりすることができる講座を開設し、生徒に選んで参加してもらいました。



3年公立選抜出願 (2月3日)

県教委の指示で、新型コロナウイルス感染症予防のため、本年度の公立高校の出願は郵送でもよいことになりました。そこで、千葉小倉台郵便局局長の___様をお願いして、私立高校出願時のように校内に特設の窓口を開設していただきました。このようなご協力をいただいている中学校は、市内で本校だけかもしれません。本当にありがとうございました。

